

ヘルス (1998. 4. 14~17 N.Y.), (b)リプロ・ライツとリプロ・ヘルス・プログラムの実施, 女性の地位向上, 男性の参加と人権 (1998. 6. 22~25, ウガンダ), (c)行動計画実施における市民社会とのパートナーシップ (98. 7. 27~30バングラデシュ), ②3つの専門家会合:(a)国際人口移動と開発 (1998. 6. 29~7. 3, ハーグ), (b)人口と高齢化 (1998. 10. 6~9, ブリュッセル), (c)危機的状況に置けるリプロダクティブ・ヘルス・サービス (1998. 11. 3~5, フランス), ③国連各地域組織における点検が含まれる。

(3)ハーグ・フォーラムは全体として, ①議員フォーラム, ②若者フォーラム, ③NGOフォーラム, ④国際フォーラムからなる。

(4)国際フォーラム: ①UNFPAが1998年半ばに各国に調査票を送付し, (回答があった) 途上国・東欧114カ国, 先進国18カ国の回答に基づいて, バックグラウンド・ペーパーを作成した。これが会議の基本資料となった。②最終的には, 報告書(政府間の非公式協議文書)が採択され, 第32回人口開発委員会とUNDP・UNFPAの管理理事会に提出された。

### Ⅲ. ハーグ・フォーラムの報告書のアウトライン

#### 背景

○世界の人口動向, ○特に4点に関する結論(人権, リプロヘルス・アプローチ, 女性の能力向上, パートナーシップ)

#### 1. ICPDの行動計画促進のための環境づくり

○提言(世界経済の動向, 環境, 紛争と危機的状況の国々, 資金調達, 移民, 人口の年齢構造, パートナーシップ, 意識改革キャンペーン, データと指標)

#### 2. 男女平等と女性の能力向上

○提言(ジェンダー的視点の導入, 男女平等の促進, 女性に対する暴力, 男性の責任)

#### 3. 家族計画を含むリプロ・ヘルスとリプロ・ライツ

○提言(リプロ・ライツ, 家族計画を含むリプロ・ヘルス・プログラムの推進, STD・HIV/AIDS, 青年, 難民)

#### 4. パートナーシップの強化

○提言(有効なパートナーシップ確立のための環境づくり, パートナーシップの原則, NGOの人材育成と組織力強化, 社会的動員努力の強化, 質の高いリプロ・ヘルス・サービスの促進, 国連と政府間組織の協力強化, UNFPAの活動強化)

#### 5. 資金調達

○提言(資金調達, 資金の有効利用, 新たな資金調達方法)

※なお, ハーグ・フォーラムの最終報告書は, インターネット上の United Nations Commission on Population and Development で入手することができる。 (阿藤 誠記)

## アルゼンティン人口プロジェクト出張報告

日本政府とアルゼンティン政府の政府間協力事業として, 国際技術協力事業団は, 「JICA-IND EC(経済省国家人口統計院)人口統計プロジェクト」を実施している。このプロジェクト全体は, アルゼンティン政府が2000年に実施する国勢調査へ向けての準備に対する協力事業である。今回の出張は, 国勢調査準備のために実施される「人口統計特別セミナー」の講師として参加したものである。なお, 日本人専門家として高橋重郷(人口動向研究部長), 坂井貞彦(愛知淑徳大学), 福井弘

道（慶応義塾大学）の3名が参加した。

上記「人口統計特別セミナー」は、国勢調査実施・分析にかかわる中央政府ならびに各州担当者を対象に実施され、3月16日に首都ブエノスアイレス市内において第1回のセミナーを開催した。また同3月18日にサルタ市において第2回のセミナーが開催された。

特別セミナーの内容は、次の通りである。

- ①アルゼンティンの2000年人口・住宅センサスの実施計画について
- ②人口センサスと地域別将来人口推計
- ③アルゼンティンの人口問題
- ④人口センサスとGIS
- ⑤アルゼンティンの人口・住宅センサスの広報・宣伝計画
- ⑥人口センサス直前における地方公共団体の準備および結果の利用事例

上記セミナーは、長時間のセミナーにもかかわらず、各州のセンサス担当上級職員の参加を得て、熱心な講義と活発な討論が行われ、我が国人口センサスの準備と結果の利用経験は、同国の2000年センサス実施に向けて、有意義なセミナーとなったと思われる。これらのセミナーの内容は、各州担当者が各州へ持ち帰り、州段階のセミナーを開催し、2000年センサスへむけた環境作りと実施のための組織作成に利用される予定である。

（高橋重郷記）